

答申「社会情勢の変化を踏まえた今後の本県における生涯学習の推進について」の主なポイント

これまでの生涯学習推進の取組の成果と課題

【成果】

- 全国生涯学習フェスティバル開催 →全27市町村で開催
生涯学習周知度 H14:91.6%→H19:93.0% 等
- 多様な学習機会・学習情報の提供 →県生涯学習大学 H15:331講座→H20:599講座
- 官民協働の生涯学習のネットワーク →「おかやま学びの輪」H15:21団体→H20:123団体 等
- 生涯学習推進拠点施設の機能充実 →県生涯学習センター:「ばるネット岡山」利用状況 H15:42,452件→H20:69,301件 等
県立図書館:資料搬送 全市町村週2回・県内高等学校等105校(H21) 等
- 現在の課題等に関する学習機会 →生涯学習関連事業 H20:463事業 等

【課題】

- 学習成果を地域社会づくりに生かす具体的な仕組みや方策
- 社会を構成する多様な主体との一層の連携・協働

教育基本法の改正
等国の動向

〈生涯学習への要請〉

- ★活動的なシニア層の地域社会への参加・参画
- ★学びを通じた新たなつながりの構築
- ★地域住民自らによる地域社会づくりへの取組
- ★地域社会全体の教育力向上への取組
- ★個人が社会的・経済的に自立

〈本県の課題〉

- ・人口構成の変化(少子化の進行、シニア層の増加等)
- ・地域社会の変化(つながりの希薄化、教育力の低下、家庭の孤立化、NPO法人の増加等)
- ・産業構造、就業形態の変化
(非正規雇用の増加、フリーター・若年無業者の増加等)
- ・より効果的、効率的な行政運営

今後の方向性

学びを通じて支え合う地域力の高い自立した地域社会の形成に資する生涯学習を支援

学習活動の支援

◆社会の要請 → 地域社会への参加・参画を促す学習活動の支援

〈視点Ⅰ〉地域力の高い自立した地域社会の形成をめざすこと

- ア. 地域に対する理解を深める学習機会の充実
- イ. 地域社会におけるつながりや支え合いを創り出す場・組織の充実
- ウ. 地域社会に参加・参画する多様なプログラムの提供
- エ. 生涯学習コーディネーターの育成
- オ. 学習相談・情報提供機能の充実

〈視点Ⅱ〉地域社会の形成者である個々の県民が社会人として自立をめざすこと

- ア. 青少年のキャリア形成支援
- イ. キャリアアップ・再チャレンジ支援



各視点についてライフステージごとの支援の重点を明確化

◆個人のニーズ → だれもがいつでも、どこでも、学びたいときに学ぶことができるよう支援 特に学びにくい環境にある人へのアウトリーチ型講座等の調査研究

学習活動の環境整備

新たな主体との連携・協働による取組の推進

- 企業(CSRへの取組、企業内研修等との連携 等)
- NPO等民間団体(プログラムの開発 等)
- 社会教育施設等(公民館、図書館、博物館、美術館等と連携した学習プログラム提供 等)
- 大学等(大学の地域貢献、大学コンソーシアムとの協働 等)
- 専修学校(キャリア形成支援 等)

→子どもを核にした多様な主体のネットワーク形成

県生涯学習推進拠点施設(県生涯学習センター、県立図書館等)、教育事務所及び関係各課・機関等を中心とした生涯学習社会の基盤づくり